



# 国際電波科学連合 公開シンポジウム

— 環境・エネルギーと電波科学 —

日時 平成21年10月3日(土) 13:00~17:20

会場 富山国際会議場

URSI

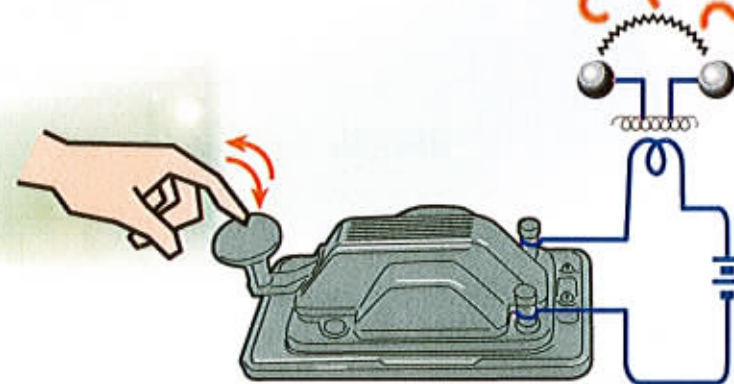
U R  
S I

AP-RASC

A P  
R A  
S C

TOYAMA

T O  
Y A  
M A



入場  
無料



お申し込み方法 ..... 折り込みの別紙を用いてください

AP-RASC'10組織委員会委員長/松本 紘(京都大学・総長)  
同 大会委員長・実行委員長/小林 一哉(中央大学・前副学長)  
同 実行委員会委員、公開シンポジウム実行委員長/岡田 敏美(富山県立大学・教授)

**【公開シンポジウム実行委員の構成】**

上記の3名及び 大村 善治(京都大学・教授)、佐藤 亨(京都大学・教授)、高田 潤一(東京工業大学・教授)、  
多氣 昌生(首都大学東京・教授)、八木谷 聡(金沢大学・教授)、山崎 垣樹(日本大学・教授)

主催 日本学術会議URSI分科会 国際電波科学連合公開シンポジウム実行委員会

後援 富山県、富山県教育委員会、富山大学、富山県立大学、富山工業高等専門学校・富山商船高等専門学校、  
富山市、富山市教育委員会、富山県高校長協会、富山市中学校長会、富山県理科教育振興会、  
富山県理化学会、(財)富山県ひとづくり財団

連絡先 公開シンポジウム実行委員会委員長 岡田 敏美(富山県立大学教授)  
TEL・FAX/0766-56-8137 電子メール/okada@pu-toyama.ac.jp

# 電波科学の世界へようこそ

こんにちは、はじめまして。私たちは世界41カ国1地域で構成する国際電波科学連合(略してURSI)の日本側メンバーです。私たちはURSIや日本学術会議の支持と協力の下、「2010年アジア・太平洋電波科学会議」(2010 Asia-Pacific Radio Science Conference: AP-RASC'10)を2010年9月22日~25日の4日間、富山市で開催することを決めました。この会議では約400編の研究論文が発表されます。

最新の電波科学は驚くような夢の世界を実現しようとしています。無尽蔵な太陽光エネルギーを利用するために宇宙に建設する宇宙太陽発電所、ここから電波でエネルギーを地球に送るといった壮大な計画、地球環境の衛星観測、地中に埋もれた遺跡や地雷を探り出すレーダ技術、次世代の携帯電話の形、人工衛星群を用いたインターネット通信網の世界、人工衛星「かぐや」によって解明されつつある月の秘密など、電波の活躍の舞台は非常に幅広く深いものがあります。

このシンポジウムでは、**専門分野のトップレベルの研究者が電波科学の最先端を分かりやすく紹介します。**

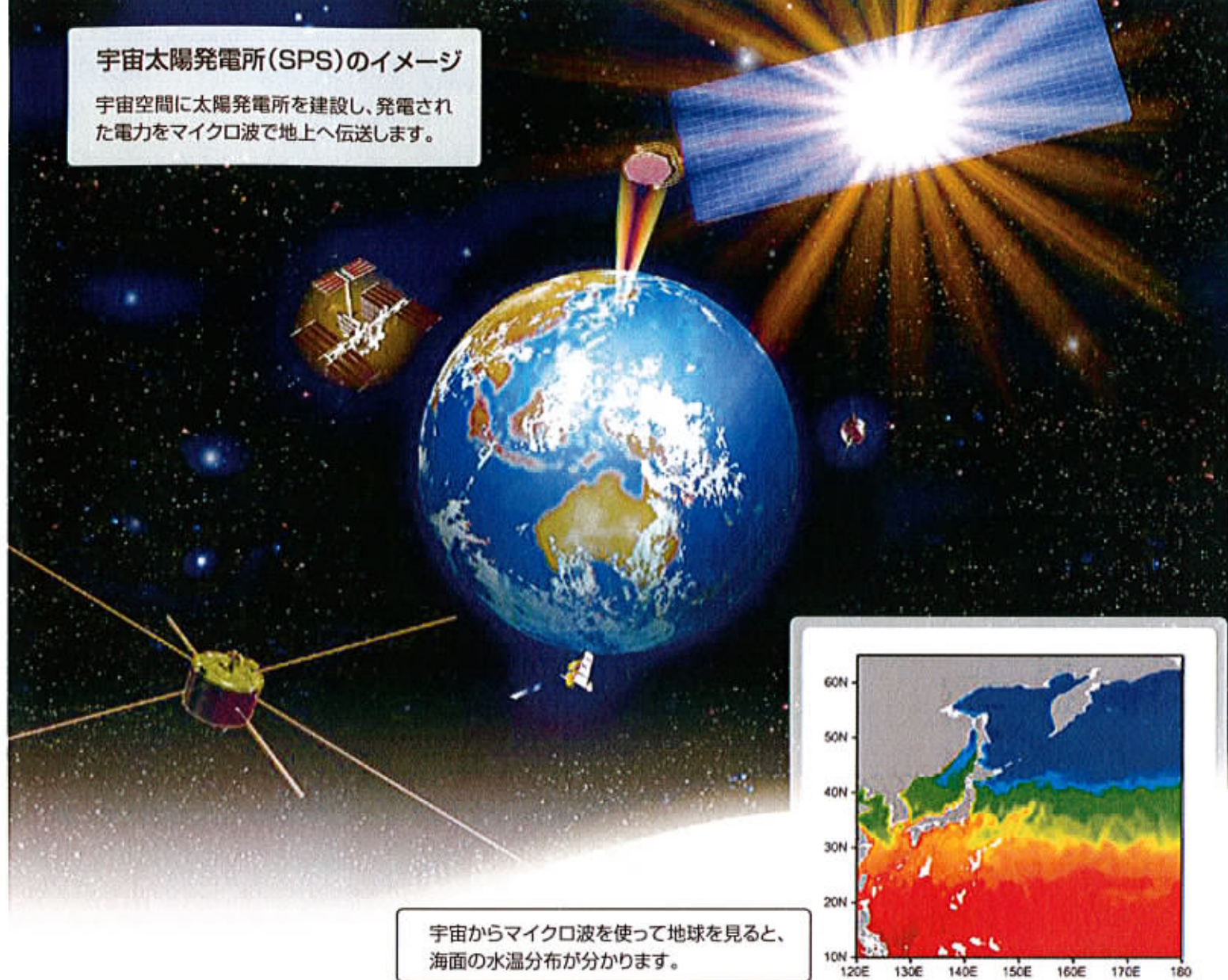
多くの生徒、学生の皆さん、教壇に立っておられる先生方がご来場いただけることを楽しみにしております。

## プログラム

13:00~13:05	● <b>開会あいさつ</b> 岡田 敏美 (富山県立大学工学部教授、日本学術会議特任連携会員)
13:05~13:15	● <b>国際電波科学連合およびアジア・太平洋電波科学会議の任務と課題</b> 小林 一哉 (中央大学理工学部教授、日本学術会議特任連携会員)
13:15~14:05	● <b>記念講演「電波科学と太陽宇宙発電システム開発」</b> 橋本 弘藏 (京大大学生存圏研究所教授)
14:05~14:30	● <b>安全・安心のためのミリ波パッシブイメージング技術</b> 水野 皓司 (東北大学名誉教授・電気通信研究所客員教授)
14:30~14:55	● <b>未来の携帯電話</b> 山口 良 ((株)NTTドコモ先進技術研究所主任研究員)
14:55~15:10	〈休憩〉
15:10~15:35	● <b>宇宙から地球を見る -マイクロ波リモートセンシング-</b> 古濱 洋治 (元 宇宙航空研究開発機構理事)
15:35~16:00	● <b>電波伝搬特性の世界的な予測 -無線システム信頼性の確保-</b> 細矢 良雄 (北見工業大学名誉教授)
16:00~16:25	● <b>地中を見るレーダ -遺跡から地雷まで-</b> 佐藤 源之 (東北大学東北アジア研究センター長)
16:25~16:50	● <b>人工衛星「かぐや」による月探査の成果</b> 熊本 篤志 (東北大学大学院理学研究科准教授)
16:50~17:15	● <b>電波による地球環境計測</b> 石井 守 (情報通信研究機構電磁波計測研究センター推進室長)
17:15~17:20	● <b>閉会あいさつ</b> 岡田 敏美 (富山県立大学工学部教授、日本学術会議特任連携会員)

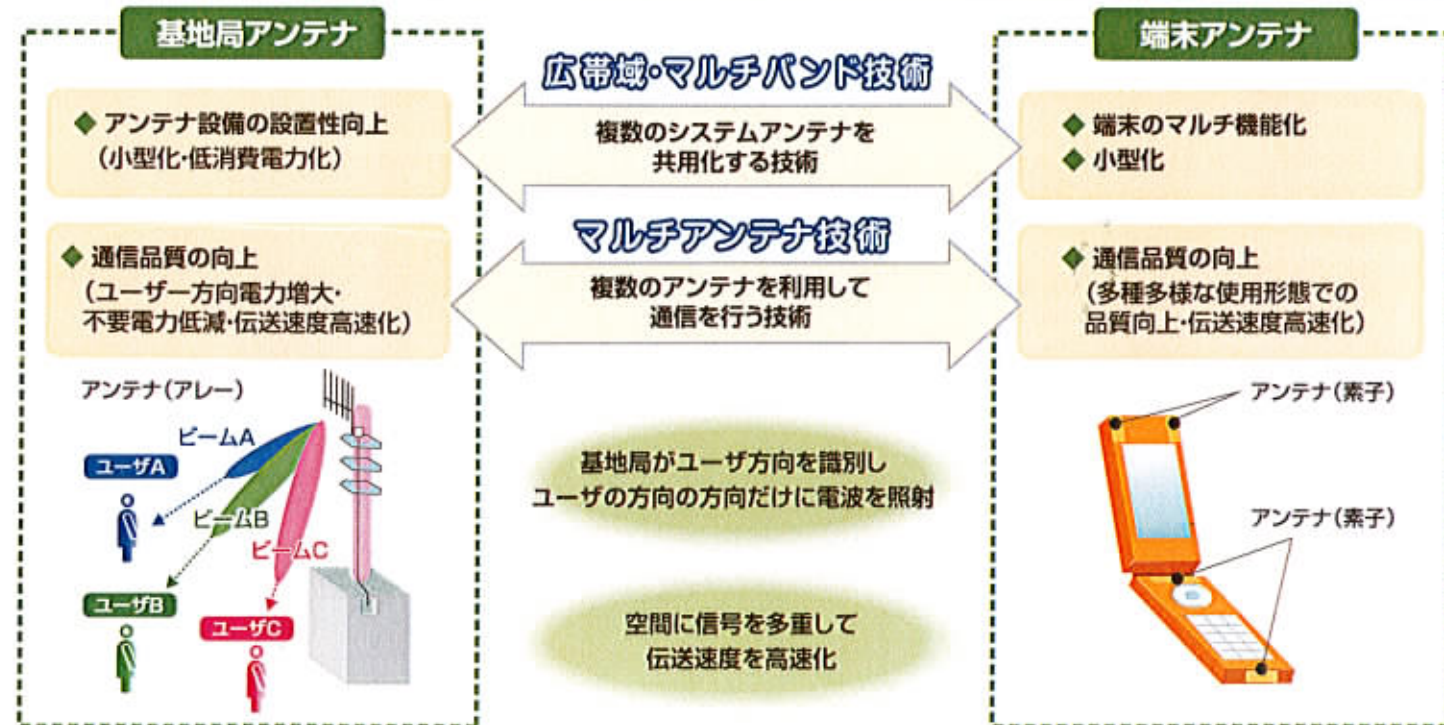
## 宇宙太陽発電所(SPS)のイメージ

宇宙空間に太陽発電所を建設し、発電された電力をマイクロ波で地上へ伝送します。



宇宙からマイクロ波を使って地球を見ると、海面の水温分布がわかります。

## 未来の携帯電話の形を考えます



# 国際電波科学連合公開シンポジウム

参加ご希望の方は、以下の点線を切り取って下記の宛先へ郵送してください。  
あるいは、電子メールにて申し込んでください。  
学校毎に取りまとめて、ご提出いただければ有り難いです。

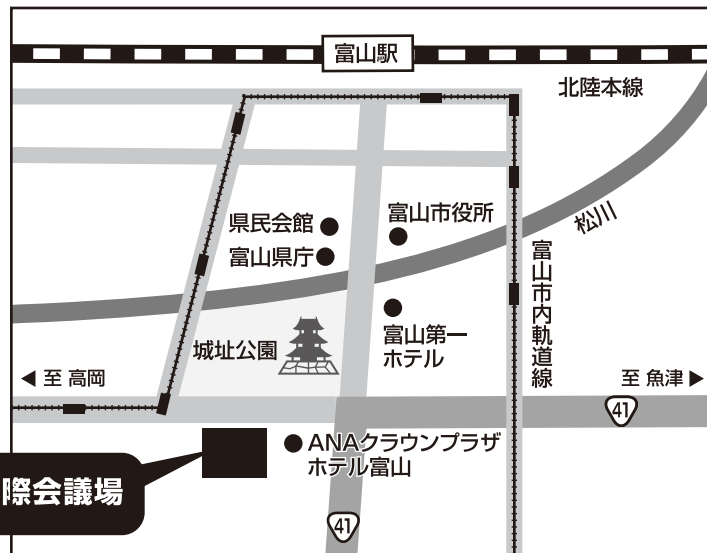
会場

## 富山国際会議場

JR富山駅より徒歩で約15分

略図を参照

富山国際会議場



申込先

宛先

富山県射水市黒河5180 富山県立大学工学部  
国際電波科学連合公開シンポジウム実行委員会・委員長 岡田 敏美

TEL・FAX

0766-56-8137

電子メール

okada@pu-toyama.ac.jp

✂ 切り取り線

## 国際電波科学連合公開シンポジウム

### 参加申込書

【学校名】

【学年】

【氏名】